

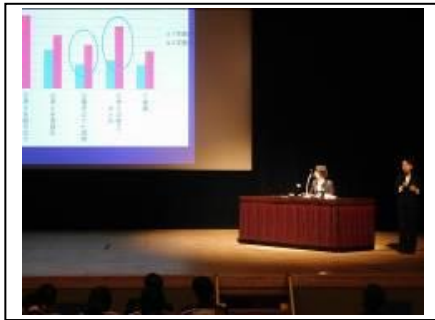
平成 29 年度広島県特別支援学校教育研究大会 報告

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 26 日 (火) 9 : 30～16 : 30
- 2 会 場 公益財団法人広島市文化財団 JMS アステールプラザ大ホール, 市民ギャラリー
- 3 参加者 559 名 / 会員数 1168 名

4 教育研究大会内容及びアンケート結果

(1) 研究発表 1

	学校名	研究テーマ
①	広島南特別支援学校	聴覚障害のある児童の思考力を育てる授業づくりについて ～思考プロセスを踏まえた算数科指導を通して～
②	福山特別支援学校	組織的な授業改善について ～重度・重複障害のある児童生徒の主体的な学びを目指して～
③	廿日市特別支援学校	指導略案を活用した教育課程の改善
④	福山北特別支援学校	考えさせる問いかけが生み出す資質・能力の活用



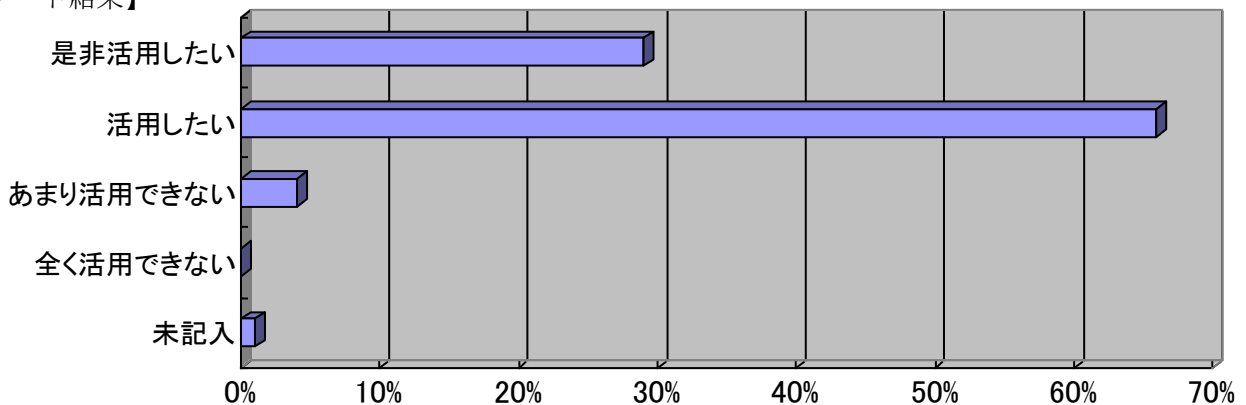
アンケート結果から「是非活用したい。」又は「活用したい。」との回答は、全体の 95%であった。

その他、「各校の特色や取組がよく分かった。」「目指す子供像が明確になっており、それに向かうためにどうするかが各校で良く考えられていた。」「劇発表を取り入れた発表では、具体的な授業場面のイメージがもちやすく参考になった。」という感想もあった。

各校の取組が具体的によく分かり、参考となっただけでなく、自校の取組への刺激にもなった。



【アンケート結果】



	是非活用したい	活用したい	あまり活用できない	まったく活用できない	未記入
■ 研究発表 1	29%	66%	4%	0%	1%

(2) 研究発表 2

平成 28 年度広島県立教育センター教員長期研修生研究成果発表

	学校名	研究テーマ
①	広島特別支援学校 教諭 反田 みほ子	肢体不自由のある生徒の表現力を育てる外国語科指導の研究 ～ タスク活動と生徒自身によるルーブリック評価を通して ～
②	三原特別支援学校 教諭 後藤 龍	知的障害のある児童の自尊感情を高める指導と評価の工夫 ～ 段階的に示した評価基準表の開発を通して ～
③	呉南特別支援学校 教諭 田中 新一郎	知的障害のある児童が自ら考え，判断し，表現する力を育成するための授業の工夫 ～ 学習の意味付け・価値付け・方向付けの工夫を通して ～

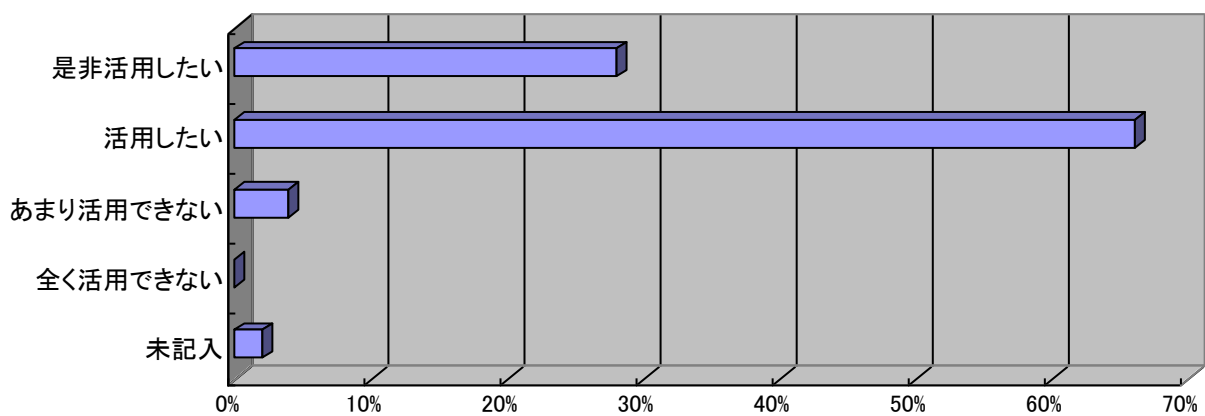


アンケート結果から、是非活用したい又は活用したいとの回答は、全体の 94%であった。

広島県立教育センター教員長期研修生の研究成果については、「これまで本研究会で共有する機会がなかったが、今後もこのような内容が組まれると良い。」「研究テーマに即して内容を掘り下げており、根拠となるデータに基づいて丁寧に検証に取り組まれている点や実態把握を基に細かい分析がなされている点が参考になった。」「検証の視点が明確であり、指導法や評価ツール等の活用について参考にしたい。」という意見もあった。

また研究の成果物を「自校の指導にも活用できそうなので是非取り入れてみたい。」という声もあり、実践に役立つという点でも効果的であった。

【アンケート結果】



	是非活用したい	活用したい	あまり活用できない	まったく活用できない	未記入
■ 研究発表2	28%	66%	4%	0%	2%

(3) ポスター発表

	学校名	タイトル
①	庄原特別支援学校	児童生徒が自ら考え、自ら動く授業づくり ～目標達成を意識した思考力の育成～
②	広島市立広島特別支援学校	自立と社会参加を目指し、「わかる」、「できる」、「かかわりあう」を 大切に授業づくり～「かかわりあう」日常生活における指導～
③	呉特別支援学校	児童生徒が、自ら考え、学びたくなる授業づくり ～資質・能力の要素を踏まえた授業評価を通して～
④	呉特別支援学校 江能分級	～児童生徒から出た課題・疑問を学習に～
⑤	尾道特別支援学校	おのみち作業検定～尾道市教育委員会との連携～
⑥	尾道特別支援学校 しまなみ分校	しまなみ版「学びの変革」アクション・プラン ～地域資源を活用して～
⑦	広島西特別支援学校	広島西特支版「学びの変革」アクション・プラン ～課題発見・解決学習の取組から～
⑧	沼隈特別支援学校	児童生徒一人一人が「分かる、動ける、できる」授業づくり
⑨	黒瀬特別支援学校	育てたい力段階表を活用した授業改善

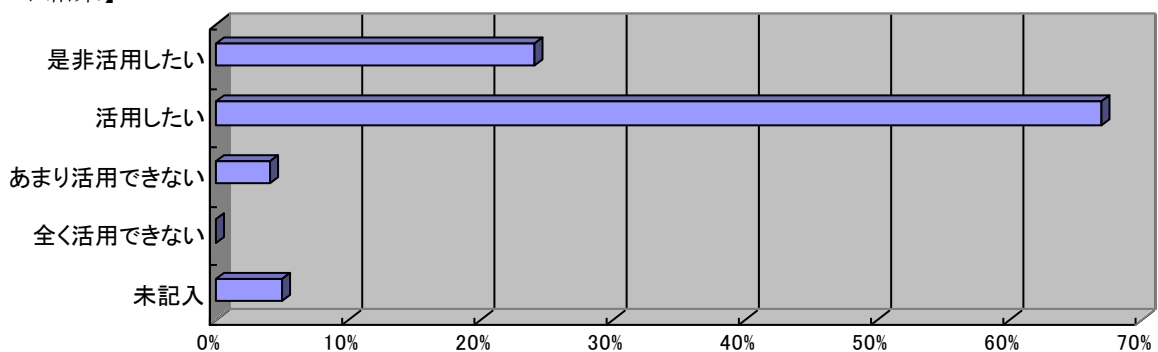
アンケート結果から「是非活用したい。」又は「活用したい。」との回答は、全体の91%であった。

その他、「それぞれの学校の特色や発表の工夫が見られ、日々の実践の熱が各校から伝わった。」「丁寧な説明や質問に対する受け答えもあり、より身近に各校の取組を知ることができた。」「地域との連携や地域資源の活用も参考になった。」

「休憩時間を含んだポスター発表は、自由に時間が調節できるところが良い点でもあるが、タイムスケジュールがあると計画的に見ることができてよかった。」という意見もあった。



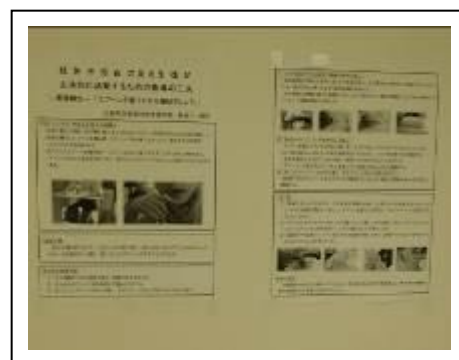
【アンケート結果】



	是非活用したい	活用したい	あまり活用できない	まったく活用できない	未記入
■ポスター発表	24%	67%	4%	0%	5%

(4) 展示発表

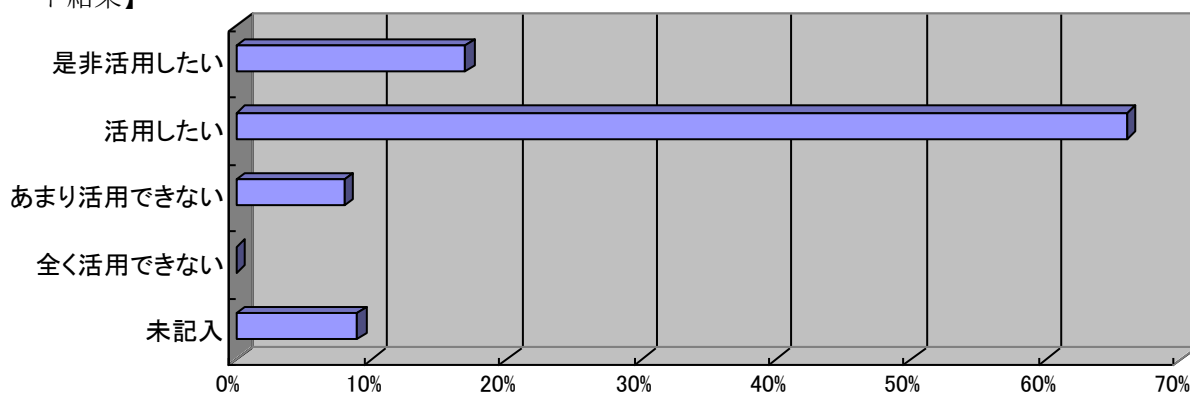
	学校名	タイトル
①	広島中央特別支援学校	視覚障害のある幼児児童生徒の主体的な学びを目指して ～「学びの変革」アクション・プランを基盤にした授業づくり、生活指導の在り方～
②	西条特別支援学校	肢体不自由のある生徒が主体的に活動する指導の工夫
③	広島北特別支援学校	児童生徒が分かってできるにつながるための授業づくり ～広島県立広島北特別支援学校 平成 29 年度教育研究から～
④	黒瀬特別支援学校 安浦分級	自発的な行動を促す授業づくり ～授業評価チェックリスト・自己評価シートを活用した指導・支援の工夫～



アンケート結果から「是非活用したい。」又は「活用したい。」との回答は、全体の 83%であった。

「展示発表の内容について、興味深く見て回ることができた。」「もっと知りたいと思う内容もあり、詳しく聞けない点が残念であった。」「展示発表にも担当者が待機し、質問があれば答えるなどすれば、より一層分かり易くなる。」という意見もあった。

【アンケート結果】



	是非活用したい	活用したい	あまり活用できない	まったく活用できない	未記入
■ 展示発表	17%	66%	8%	0%	9%

(5) 全体を通して

毎年全ての障害種を取り上げることは難しいと思うが、各校の実践発表は非常に参考になるという意見が多数であった。研究発表 1・2 については、発表者に質問できる時間や、発表内容についてディスカッションできる場があってもよいという意見があった。

今回のような各校の実践発表は、県内の特別支援学校の学びを共有でき、広島版「学びの変革」アクション・プランの全県展開につながるものであったと考える。